

軍事と平和は守れぬ! 岸田政権1%安保3文書を閣議決定は撤回は、  
戦争の心配のないアジアへ

夢と希望、平和な社会に実現させる!  
12月17日(土)、吉良よし子参院議員を迎えて講演と対話。

学校給食の無償化を一日も早く  
補聴器助成を一刻も早く  
国保料値上げするな、軽減こそ  
区長に12月19日  
年末の緊急申し入れ

●物価高騰が続き、区民生活への影響がますます広がっています。  
日本共産党北区議員団は、国、都、他自治体の動きもふまえ、申し入れました。

- 1、学校給食費の無償化について、葛飾区が来年度、完全無償化に踏み出すのに続き、台東区が地方創生臨時交付金などを活用し、来年1~3月までの給食費を無償にすると報じられています。学校給食費の負担軽減では23区でも先陣を切ってきた北区が、いち早く全面無償化に進むこと。
- 2、高齢者の補聴器購入助成については、会派の9月本会議質問に対する「医師会と調整し制度導入に向けた検討をすすめる」との答弁に続き、11月末の健康福祉委員会では、「メンテナンスの方法も含め協議している」とのお答えを頂きました。認知症予防にも大きく寄与する耳のきこえの支援、補聴器購入助成を、一刻も早く制度化すること。(必ずぞに、16区が実施へ)
- 3、来年度の国民健康保険について、11月24日の東京都国保運営協議会で、国の仮係数をもとにした区への納付金額が示されました。納付金をベースにした1人あたりの国保料は、各自治体の繰り入れを実施しない場合で18万1949円と、今年度比で1万4097円もの大幅な値上げとなります。国保料の値上げを抑え、負担軽減を拡充するよう東京都と特別区長会に求め、区としても対応すること。
- 4、浮間地域のコミュニティバス新規路線については、メーカーの不祥事により、試験運行の開始が大幅に遅れています。運行の早期実現をめざしつつ、昨今ではEV(電気自動車)の開発が飛躍的な進歩を遂げていることから、車両導入に際し、北区ゼロカーボンシティ宣言にも合致するEVへの切り替えを真剣に検討すること。
- 5、司法においても違法性が指摘されている反社会的カルト集団、旧統一協会について、板橋区は区および区長との関係を過去から現在に至るまで調査し、公表しました。北区でも同様に公表し、区民へ説明を行うこと。

都議会代表質問では、曾根はじめ都議が学校給食費半額化と糸割提案  
(12月28日)



止めまじよう!  
テロと戦争も

日本共産党北区議会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団  
2022.12.22 No.1906  
御相談はお気軽に  
TEL FAX とも 3905-0970  
さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)



— つどい、会場で、左からさがら、吉良議員、秋山弘、曾根都議 —

☑ヌヴェル赤羽台の集会室には、青年たちの姿もめだちました。さらに、前日(17日)に岸田、自公政権が、国民の声も聞かず、国会論戦も行なわないまま、「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略(旧防衛計画の大綱)」「防衛力整備計画(中期防衛力整備計画)」、いわゆる安保3文書を閣議決定したという緊張する情勢の中が開かれました。

吉良議員は「戦争国家づくりは許さない。対話による外交努力を重ねて、戦争にさせないことこそ、国際的な流れになっています。日本共産党の外交ビジョンの方向が、アジアの総意となっているのだ」と、熱く語りかけました。



桐ヶ丘中央公園

- ▶ 年末明けあい・ミニバザンのご協力ありがとうございました。
- ▶ 実行委員会と話しあい、北区社会福祉協議会の募金に協力させていただきます。
- ▶ 区内の花屋さんからのクラサン、三宅島からの花、明日葉、キヌキヤなども、好評をいただきました。まぜごはん、おしんもおいしかったですね。③



現在の北の面積、その倍が軍用地だった。「軍都北區」の歴史とくり返さないために

# 戦争の心配のない アジアへ

協議さながらとして



どの国も排除せず、包み込む「平和の枠組み」を

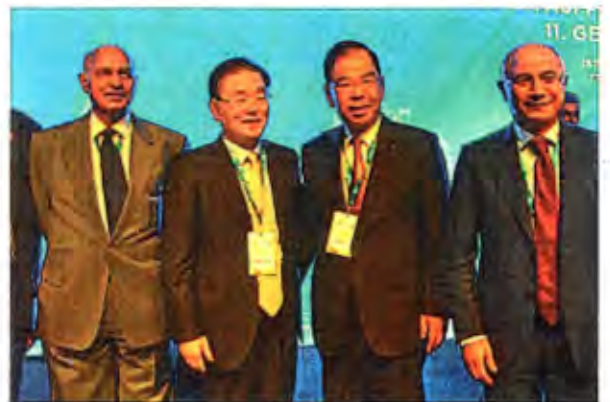
## アジア政党国際会議で 画期的宣言

### 30カ国1地域69政党が真剣な議論

アジア全域から与野党の区別なく多数の政党が参加するアジア政党国際会議(ICAPP)。11月の第11回総会では、「平和の大道」を発信する画期的な「イスタンブール宣言」を採択しました。

どうやったら戦争の心配のないアジアをつくれるか——イスタンブール宣言は、「ブロック政治を回避することの重要性を強調し、競争よりも協力を強調」しました。特定の国を排除するようなブロック政治ではなく、平和のために協力しあう包摂的な枠組みをつくらうという呼びかけです。

インクルージブ(包み込む)



最終日に採択された「イスタンブール宣言」には日本共産党の「外交ビジョン」の方向が反映。ICAPP総会閉会をうけて、あいさつを交わす志位委員長(右から2人目)と鄭義浩ICAPP議長(その左)、ムシャヒド・フセイン・サイド宣言起草委員長(左端)、エフカン・アラートルコ公正発展党副議長(右端) =11月19日、イスタンブール(撮影由美撮影)

## 日本共産党の外交ビジョンの方向が アジアの総意に

日本共産党は、総会への提案で、東南アジア諸国連合(ASEAN)がすすめる「東アジアサミット」を地域のすべての国を包摂する枠組みとして強化し、ゆくゆくは東アジア規模の友好協力条約をむすぶことが、戦争の心配のないアジアを築く道であると提起。その方向が、アジアの総意として確認されました。

“軍拡一本やり、の岸田政権とはちがひ、アジアと世界では、話し合ひで平和を構築する努力が広がっています。

「しんぶん赤旗」お

2022.12.22.  
「しんぶん赤旗」No.1906



スピーチする志位和夫委員長  
=11月18日、イスタンブール(撮影由美撮影)

### 「宣言の定式化など 日本共産党の貢献に感謝」(ICAPP議長)

日本共産党は、志位和夫委員長を代表とする代表団を派遣。総会の冒頭に「特別枠」でおこなわれた志位委員長のスピーチには、各国代表からあたたかい反応が寄せられました。

「私たちのマインドに届く平和のスピーチだった」(イラク)  
「アジアで戦争をおこさないというアピールは、ヨーロッパでの戦争が継続しているだけに切実だった」(バングラデシュ)

